２０２４年度

編 入 学 生 募 集 要 項
入　　学　　案　　内

（　WEB掲載版　）

（注意）

・WEB掲載版には、出願書類が添付されておりません。

・出願の際には、必ず冊子版の「2024年度版編入学生募集要項」をご利用ください。

神戸市立工業高等専門学校

神戸市西区学園東町８丁目３番地（〒651-2194）

電話(078) 795-3322（学生課）

ホームページ　http://www.kobe-kosen.ac.jp/

◆　個人情報の取り扱いについて　◆

本校では、出願書類等に記載されている名前、性別、生年月日、住所その他の個人情報は、編入学選抜、合格発表及び入学手続き等を行うために利用します。

取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しません。

神戸市立工業高等専門学校
編入学生受入方針（アドミッションポリシー）

神戸高専は、国際港都“神戸”に立地した神戸市立の唯一の工学系高等教育機関であるという視点に立ち、工学という学問の本質を深く教授し、技術者として必要な実践能力を養うだけでなく、心身の調和と国際性も身につけた技術者を育成することを目指しています。

そのため、神戸高専では以下に示すような学生を求めています。機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学というそれぞれの専門性を活かしてより良い世界をデザインしていきたいという想いを抱き、自ら将来を切り開こうとするみなさんの入学を期待します。

【準学士課程の教育方針】

本校の本科課程では、健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎的な知識を身につけると同時に、創造性も合わせ持つ国際性、問題解決能力を有する実践的技術者を養成することを目指します。

【求める学生像】

⑴ 各専門分野（機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学）に対して強い関心があり、目標の達成に向けて主体的に取り組める人

⑵ 論理的に思考・判断することができ、自分の考えをわかりやすく表現できる人

⑶ 多様な価値観を理解することができ、周囲と協力して課題に取り組める人

⑷ 国際的な舞台で活躍したいという希望を持っている人

【入学者選抜の基本方針】

第 4 学年編入学者の選抜は、能力・適性において高等専門学校の教育を受けるにふさわしい資質を有する者を、次の方法によって公正に行います。

⑴ 指定校制度による選抜

機械工学科、電気工学科、電子工学科、応用化学科は、本校への編入学実績のある高等学校と協定を結んでいます。高等学校から提出された調査書から推薦条件を満たしているかどうかを書類選考により判定し合格者を決定します。

⑵ 学力検査による選抜

本校への入学意思が強く、将来技術者として活躍したいという志を有する者を対象とし、学力検査の成績と、小論文、 面接、高等学校から提出された調査書の総合判定により選抜します。なお、都市工学科については、高等学校での成績優秀者に対して学力検査を実施せず、面接、調査書を重視する推薦選抜制度があります。

２０２４年度　編入学生募集要項

１　募集学科及び募集人員

募　集　学　科	募　集　人　員	編入学年次
機　械　工　学　科 ※1	若　干　名	４　年　次
電　気　工　学　科 ※1		
電　子　工　学　科 ※1		
応　用　化　学　科 ※1		
都　市　工　学　科 ※2		

※1　機械工学科、電気工学科、電子工学科、応用化学科では、指定校推薦制度を導入しています。該当の高等学校には連絡済みです。

※2　都市工学科では、推薦選抜制度を導入しています。

２　出　願　資　格

出願の際に兵庫県内に住所を有し、かつ、入学後も引き続き兵庫県内から通学する者で、高等学校あるいは中等教育学校を卒業した者または2024年３月に卒業見込みの者。ただし、入学時（2024年４月）に兵庫県内に住所を移す場合は、本校事務室学生課にお問い合わせください。

都市工学科の推薦選抜は、学力検査の一部（物理または専門科目）を免除し、調査書及び面接（口頭試問を含む）を重視した選考を行います。推薦選抜受験者は、第 2 学年の席次が建設系学科あるいは学年内の入学定員の成績上位 5%以内とし、各校１名とします。

３　出　願　手　続

（1）志願者の提出する書類等について

書　類　等		摘　要
①	編入学願書類	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	写　真	出願前３か月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きのもの（縦４ cm ×横３ cm、白黒またはカラー）を、「編入学志願者整理票」の定められたところに貼付してください。
③	調　査　書	出身高等学校所定の用紙により出身高等学校長が作成し、厳封してください（「調査書」と朱書きしてください）。なお、卒業見込者については、学習の記録は第２学年まで、出欠の記録は2023年６月30日までのものを記入してください。
④	卒業証明書または卒業見込証明書	出身高等学校所定の用紙により作成してください。
⑤	推　薦　書	本校所定の用紙により出身高等学校長が作成し、厳封してください（「推薦書」と朱書きしてください）。

書　類　等		摘　　　　要
⑥	編入学選抜料	16,500円 本校所定の振込用紙に志望学科、学校名、名前を記入のうえ、願書提出までに**銀行窓口**で振り込んでください。願書提出時に振込受領書のコピーを必ず願書の裏に貼付してください。（三井住友銀行での振り込みは手数料不要） **※ATMやインターネットバンキングでの振込は不可です。** いったん納付された編入学選抜料は、本校に出願しなかった場合または出願が受理されなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
⑦	受験票送付用封筒	受験票を返送するため、募集要項とじ込みの本校所定の封筒に、志願者の住所・名前・郵便番号を明記し、郵便切手664円分（第１種〔封書〕定形郵便物84円、簡易書留料320円及び速達料260円：2023年4月１日現在）を貼付して同封してください。 ※指定校推薦者は必要なし。
⑧	合否通知用封筒	選抜結果を郵送により通知しますので、募集要項とじ込みの本校所定の封筒に、志願者の住所・名前・郵便番号を明記して同封してください。（郵便切手の貼付は不要です）

（2）出願方法について

編入学願書類（選抜料振込受領書のコピーを貼付したもの）に調査書、卒業証明書または卒業見込証明書、推薦書及び返信用封筒を添え、出身高等学校長より一括して、以下の要領で提出してください。

※出願受付は、郵送に限らせていただきますのでご注意ください。

出　願　期　間	2023年７月３日（月）～7月７日（金）16時（必着） 封筒に「編入学願書」と朱書きし、必ず書留郵便で郵送してください。
宛　　　　先	〒651-2194　神戸市西区学園東町８丁目３番地 神戸市立工業高等専門学校　事務室学生課 電話　078-795-3322

（3）受験票の交付

出願書類を受理した者には、受験票を交付します。

（4）出願にあたっての注意事項

ア　出願に際しては、在籍（出身）学校と十分に相談してください。

イ　提出書類が不足、または記載事項に不備がある場合は、出願書類を受理できませんので、提出前によく確認してください。

ウ　出願書類受理後は、記載事項の変更、書類の返還は行いません。また、提出後に虚偽の記載があった場合は、編入学後であっても編入学を取り消すことがあります。

エ　その他、編入学生の選抜に関することについては、本校事務室学生課にお問い合わせください。

４　選　抜　方　法

編入学生の選抜（全学科）は、学力検査、調査書、面接を総合して行います。

（1）学力検査科目

志望学科	検査科目	出題範囲
各学科共通	小論文	課題文型小論文
	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ
	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数学Aについては、場合の数と確率、数学Bについては、数列・ベクトルの範囲とする）
機械工学科	① 物理	物理基礎・物理
	② 専門科目	機械設計・機械工作
電気工学科	① 物理	物理基礎・物理
	② 専門科目	電気基礎・電子回路
電子工学科	① 物理	物理基礎・物理
	② 専門科目	電気基礎・電子回路・電子情報技術
応用化学科	化学	化学基礎・化学
都市工学科	① 物理	物理基礎・物理
	② 専門科目	測量・土木基礎力学（構造力学、水理学、土質力学）

※応用化学科以外は、①または②のいずれかを選択して受験すること。

（2）各科目等の配点

科目等	英語	数学	物理・化学または専門科目	小論文	面接	調査書
配点	100	100	100	50	50	50
総配点	450					

【都市工学科の推薦選抜】

科目等	英語	数学	物理または専門科目	小論文	面接	調査書
配点	100	100	／	50	200	200
総配点	650					

（3）学力検査及び面接の日時

日時	2023年7月29日（土）　8:40～					
日程	集合	小論文	英語	数学	物理・化学 または専門科目	面接
	8:40	9:00 ～ 9:50 (50分)	10:05 ～ 11:05 (60分)	11:20 ～ 12:20 (60分)	13:10 ～ 14:40 (90分)	15:00 ～

※　学力検査開始30分経過後の受験は認めません。
※　学力検査及び面接の一つでも受験していない場合は辞退したものとします。

【都市工学科の推薦選抜受験者】

日時	2023年7月29日（土）　8:40～					
日程	集合	小論文	英語	数学	物理または専門科目	面接
	8:40	9:00 ～ 9:50 (50分)	10:05 ～ 11:05 (60分)	11:20 ～ 12:20 (60分)	／	13:10 ～

※　学力検査開始30分経過後の受験は認めません。
※　学力検査及び面接の一つでも受験していない場合は辞退したものとします。

(4) 検査会場

神戸市立工業高等専門学校（※裏表紙の交通機関案内図を参照してください。）

(5) 受験者の持参品

受験票、筆記用具

(6) その他

ア　学力検査会場に時計はありません。時計の必要な受験者は、計算機能等付加機能がない時計を持参してください。

イ　上履きは不要です。

ウ　昼食を用意してください。（本校の食堂は営業しておりません）
昼食時間は 12:20 ～ 13:10 です。

エ　当日、車での来校はご遠慮ください。

５　合格発表

2023 年８月２日（水）　午前 10 時に本校 Web ページに掲載します（本校での掲示は行いません）。また、本人及び出身高等学校等に文書で通知します。なお、電話等による問い合わせには応じません。

６　入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、2023 年８月 18 日（金）までに、入学確約書（用紙は、合格発表日に在籍学校へ郵送します）を本校学生課まで簡易書留で郵送してください。郵送がない場合は、本校に入学する意思がないものとして取り扱います。

７　入学手続

合格者に別途通知します。

８　入試の成績開示

本校では受験者全員を対象に入試成績を開示します。入試成績の開示を希望する者は、下記のとおり請求してください。詳細はとじ込みの「編入学選抜検査結果開示請求書」をご覧ください。

・開示期間
2023 年８月３日（木）～ 2023 年８月 11 日（金）17 時（必着）

・開示する入試の成績（情報）の内容
① 受験者本人の総得点　② 受験学科の合格者の総得点の最高点、平均点、最低点

・ 開示請求方法（郵送に限ります）
下記の書類を開示請求先に郵送してください。①の裏面に②、③を貼付してください。
①募集要項とじ込みの「編入学選抜検査結果開示請求書」
②受験票のコピー
③生徒証等身分を証明できるもののコピー
④返信用 84 円切手を貼付した返信用封筒（長形３号 120㎜×235㎜）

・ 開示請求先
〒651-2194　　神戸市西区学園東町８丁目３番地
神戸市立工業高等専門学校　事務室学生課　 電話 078-795-3322

編　入　学　案　内

1　創　立

1963年4月1日

2　本校の目的

本校は、学校教育法の定める高等専門学校として、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること、並びにその教育、研究機能を活用して国際港都神戸の産業及び文化の発展向上に寄与することを目的とする。

3　教育方針

■ 人間性豊かな教育

心身の調和のとれた、たくましく感性豊かな人間形成をめざして、教養教育の充実をはかるとともに、スポーツ・文化クラブ等の課外活動を振興する。

■ 基礎学力の充実と深い専門性を培う教育

工学に関する基礎知識と専門知識を身につけ、日進月歩する科学技術に対応し、社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者及び開発型技術者を育成する。

■ 国際性を育てる教育

国際・情報都市神戸にふさわしい高専として、世界的視野を持った、国際社会で活躍できる技術者を育成する。

4　養成すべき技術者像（準学士課程：5年間）

健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎的な知識を身につけると同時に、創造性も合わせ持つ国際性、問題解決能力を有する実践的技術者を養成する。

■ 機械工学科　数学、自然科学、情報処理技術、計測技術、電気電子技術、加工技術、設計法等の基礎技術を習得し、豊かな教養教育のもと、創造性も合わせ持つ柔軟な思考を有し設計や製作ができる実践的技術者を養成する。

■ 電気工学科　数学、自然科学、情報処理技術、電磁気学、電気回路、実験等により基礎技術を習得し、豊かな教養教育のもと、創造性も合わせ持ち柔軟な思考ができる実践的技術者を養成する。

■ 電子工学科　数学、自然科学、情報処理技術、エレクトロニクスの基礎技術を習得し、豊かな教養教育のもと、創造性も合わせ持ち、多種多様な課題を解決できる実践的技術者を養成する。

■ 応用化学科　数学、自然科学、情報処理技術に加え、物質の基本を理解し、新しい物質作りに応用できる基礎学力を習得し、豊かな教養教育のもと、創造性も合わせ持ち柔軟な思考ができる実践的技術者を養成する。

■ 都市工学科　数学、自然科学、情報処理技術、構造力学、水理学、土質力学、計画、環境に関する科目に重点をおき、豊かな教養教育のもと、自然や人間に優しい生活環境をデザインするための総合的な技術力、判断力、創造性を合わせ持つ実践的技術者を養成する。

5　卒業時に身につけるべき学力や資質・能力（準学士課程の学習・教育目標）

⑷ 工学に関する基礎知識を身につける。

- (A1) 数　　　学　工学的諸問題に対処する際に必要な数学の基礎知識を身につけ、問題を解くことができる。
- (A2) 自 然 科 学　工学的諸問題に対処する際に必要な自然科学に関する基礎知識を身につけ、問題を解くことができる。
- (A3) 情 報 技 術　工学的諸問題に対処する際に必要な情報に関する基礎知識を身につけ、活用することができる。
- (A4) 専 門 分 野　各学科の専門分野における工学の基礎知識・基礎技術を身につけ、活用することができる。

⒝ コミュニケーションの基礎的能力を身につける。

- (B1) 論理的説明　自分の意図する内容を文章及び口頭で相手に適切に伝えることができる。
- (B2) 質 疑 応 答　自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。
- (B3) 日 常 英 語　日常的な話題に関する平易な英語の文章を読み、聞いて、その内容を理解することができる。
- (B4) 技 術 英 語　英語で書かれた平易な技術的文章の内容を理解し、日本語で説明することができる。

⒞ 複合的な視点で問題を解決する基礎的能力や実践力を身につける。

- (C1) 応 用･解 析　工学的基礎知識を工学的諸問題に応用して、得られた結果を的確に解析することができる。
- (C2) 複 合･解 決　与えられた課題に対して、工学的基礎知識を応用し、かつ情報を収集して戦略を立て、解決できる。
- (C3) 体 力･教 養　技術者として活動するために必要な体力や一般教養の基礎を身につける。
- (C4) 協 調･報 告　与えられた実験テーマに対してグループで協調して挑み、期日内に解決して報告書を書くことができる。

⒟ 地球的視点と技術者倫理を身につける。

- (D1) 技術者倫理　工学技術が社会や自然に与える影響及び技術者が負う倫理的責任を理解することができる。
- (D2) 異文化理解　異文化を理解し、多面的に物事を考えることができる。

6　教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

神戸高専の準学士課程の教育課程は、ディプロマ・ポリシーに掲げる学習・教育目標に沿って編成しています。一般科目において自然科学に関する基礎学力、語学力、幅広い教養と思考力を養うための科目を、専門科目においてはそれぞれの学科の基本方針のもと実践的基礎能力を培うための科目を用意しています。これらの知識・能力を効果的に修得するため、一般科目を低学年に多く配置し、学年が進むにつれて専門科目が多くなるようくさび形に授業科目を編成しています。

【機械工学科】
機械工学科では、近年の科学技術の進歩に応えるべく、各種機器を開発、設計、製作するために必要な材料力学、熱力学、流体力学、機械力学に関する基礎知識と技術を修得し、コンピュータ利用、計測制御技術、電気電子技術等の分野にも即応できる能力を持った独創的なエンジニアを育成できるように編成しています。実習系科目を通して実践的な能力を身につけるとともに、機械工学実験や卒業研究を通して論理的な思考能力や問題解決能力を養えるように系統的に編成しています。

【電気工学科】
電気工学科では、現代社会の基盤となる電気エネルギーとそれにより構築された高度産業システムを支えることのできる技術者を養成するため、①材料、電子デバイス　②電気エネルギー、機器、設備　③コンピュータ、計測、制御、通信を 3 本柱とし、グローバルな活躍に必須の技術英語系科目、課題解決力を育む実験実習、学外実習、卒業研究をバランス良く系統的に配置した編成にしており、経済産業省が定める電気主任技術者の国家資格認定基準をも満たしたカリキュラムとなっています。

【電子工学科】
電子工学科では、今後もますます多様化、高度化していくであろうエレクトロニクス分野の第一線で活躍できるように、低学年に電気電子系基礎科目を配置し、それを基礎に高学年では、物性・デバイス系科目、計測・制御系科目、情報・通信系科目をバランスよく配置した５年間の系統的なカリキュラムで学ぶことができるように編成しています。また、各科目に関連した実験実習、学外実習、卒業研究などを通して、実践的で創造性豊かなエンジニアを養成できるように教育課程を編成しています。

【応用化学科】
応用化学科では、学習教育目標に掲げている５分野（有機化学、無機化学・分析化学、物理化学、化学工学、生物工学）をコアとし、有機的なつながりに配慮したカリキュラムを編成しています。また、５分野を学ぶにあたり必要不可欠な基礎としての情報技術に加え、先端分野として着目されているエネルギー、新素材関連、環境問題などもバランス良く修得できるように編成しています。さらに、座学で学んだ内容の理解をより深めるために、実験実習や卒業研究を系統的に編成しています。

【都市工学科】
都市工学科では、自然環境や人に優しい生活環境をデザインするための総合的な技術力、判断力、創造性を合わせ持つ実践的技術者の養成を目指し、「教育プログラム」と「学習・教育目標」を定め、それらに沿って教育課程を編成しています。
構造力学、水理学、土質力学、材料学、計画学、環境工学等の専門講義科目に加え、実験実習、学外実習、卒業研究などの体験的な科目を系統性に配慮した順次性のある体系的な教育課程を編成し、いずれも専門性や学修難易度を考慮して編成しています。

7 編入後の教育課程

各学科共通の一般科目と各学科別の専門科目に分かれ、その授業科目は概ね下表のとおりです。

<table>
<tr><td>一般科目</td><td>各科共通</td><td colspan="2">国語表現法、保健・体育、英語演習、国際コミュニケーション、確率・統計、５年選択科目（A選択、B選択、C選択から各１科目選択）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">専門科目</td><td rowspan="2">機械工学科</td><td>ロボティクス・デザインコース</td><td>応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用物理Ⅰ、材料力学Ⅱ、熱力学Ⅰ、熱力学Ⅱ、流体力学Ⅰ、流体力学Ⅱ、機械力学、自動制御、計測工学、機械設計Ⅱ、生産工学、機械設計演習Ⅰ、機械設計演習Ⅱ、工業英語、技術者倫理、機械工学実験Ⅰ、機械工学実験Ⅱ、卒業研究、学外実習、応用数学Ⅲ、応用物理Ⅱ、材料力学Ⅲ、システム制御、加工工学Ⅱ、設計工学、シミュレーション演習、ロボット工学概論、機械制御、ロボット工学、ロボティクスデザイン、ロボット工学演習Ⅰ、ロボット工学演習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>エネルギー・システムコース</td><td>応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用物理Ⅰ、材料力学Ⅱ、熱力学Ⅰ、熱力学Ⅱ、流体力学Ⅰ、流体力学Ⅱ、機械力学、自動制御、計測工学、機械設計Ⅱ、生産工学、機械設計演習Ⅰ、機械設計演習Ⅱ、工業英語、技術者倫理、機械工学実験Ⅰ、機械工学実験Ⅱ、卒業研究、学外実習、応用数学Ⅲ、応用物理Ⅱ、材料力学Ⅲ、システム制御、加工工学Ⅱ、設計工学、応用光学、CAE 演習、航空先端材料、環境工学、熱流体工学、エネルギーデザイン、エネルギーシステム演習</td></tr>
<tr><td>電気工学科</td><td colspan="2">応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用物理、電気磁気学Ⅱ、半導体工学、電気回路Ⅲ、電子回路Ⅰ、電子回路Ⅱ、制御工学、数値解析、電気材料、電力工学Ⅱ、電気機器Ⅰ、電気機器Ⅱ、電気機器Ⅲ、パワーエレクトロニクス、電気工学実験実習、卒業研究、工業英語Ⅱ、放電現象、電気法規及び電気施設管理、学外実習、通信工学Ⅰ、通信工学Ⅱ、電気磁気学Ⅲ</td></tr>
<tr><td>電子工学科</td><td colspan="2">応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用物理、ソフトウェア工学、数値解析、電気磁気学Ⅱ、半導体工学、電気回路Ⅲ、電子計測、電子回路Ⅰ、電子回路Ⅱ、通信方式、情報通信ネットワーク、情報理論、制御工学Ⅰ、制御工学Ⅱ、電子工学実験実習、卒業研究、学外実習、工業英語、電子応用、光エレクトロニクス、画像処理、コンピュータアーキテクチャ</td></tr>
<tr><td>応用化学科</td><td colspan="2">応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用物理Ⅰ、応用物理Ⅱ、情報処理Ⅱ、無機化学Ⅲ、有機化学Ⅲ、有機化学Ⅳ、高分子化学、材料化学、物理化学Ⅱ、物理化学Ⅲ、化学工学Ⅱ、化学工学量論、生物工学、生物化学Ⅰ、生物化学Ⅱ、品質管理、プロセス設計、機械工学概論、電気工学概論、学外実習、化学英語Ⅱ、応用有機化学、応用無機化学、エネルギー工学、環境化学、応用化学実験Ⅲ、卒業研究</td></tr>
<tr><td>都市工学科</td><td colspan="2">応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用物理、環境生態、構造力学Ⅲ、構造力学Ⅳ、水理学Ⅱ、水理学Ⅲ、土質力学Ⅱ、土質力学Ⅲ、コンクリート工学Ⅱ、施工管理学、橋梁工学、建築計画概論、情報数値解析、土木計画、測量学Ⅲ、都市環境工学、都市交通計画学、土木・建築設計製図 Ⅲ、土木・建築設計製図Ⅳ、工業英語、都市工学実験実習、卒業研究、学外実習、建設都市法規、都市情報工学、防災工学、景観工学、応用CAD、建築施工、河川工学、海岸工学</td></tr>
</table>

8　認定教育プログラム（都市工学専攻）

本校専攻科では高専4、5年の課程と合わせた教育プログラムが2006年5月に日本技術者教育認定機構（JABEE）から認定されました（現在は都市工学専攻のみ（2016年継続審査認定済））。JABEE認定教育プログラムを修了すると、国際的に通用する技術者としての技能が保証されます。学習・教育目標は次のとおりです。

学習・教育目標（専攻科課程（2年間）修了時に身につけるべき学力や資質・能力）

(A) 工学に関する基礎知識と専門知識を身につける。

(A1)	数　　学	工学的諸問題に対処する際に必要な線形代数、微分方程式、ベクトル解析、確率・統計などの数学に関する知識を身につけ、問題を解くことができる。
(A2)	自然科学	工学的諸問題に対処する際に必要な力学、電磁気学、熱力学などの自然科学に関する知識を身につけ、問題を解くことができる。
(A3)	情報技術	工学的諸問題に対処する際に必要な情報技術に関する知識を身につけ、活用することができる。
(A4)	専門分野	各専攻分野における工学基礎と専門分野の知識・技術を身につけ、活用することができる。

(B) コミュニケーション能力を身につける。

(B1)	論理的説明	技術的な内容について、図、表を用い、文章及び口頭で論理的に説明することができる。
(B2)	質疑応答	自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。
(B3)	日常英語	日常的な話題に関する英語の文章を読み、聞いて、その内容を理解することができる。
(B4)	技術英語	英語で書かれた技術的・学術的論文の内容を理解し、日本語で説明することができる。また、特別研究等の研究に関する概要を英語で記述することができる。

(C) 複合的な視点で問題を解決する能力や実践力を身につける。

(C1)	応用･解析	工学基礎や専門分野の知識を工学的諸問題に応用して、得られた結果を的確に解析することができる。
(C2)	複合･解決	与えられた課題に対して、工学基礎や専門分野の知識を応用し、かつ情報を収集して戦略を立てることができる。また、複合的な知識・技術・手法を用いてデザインし工学的諸問題を解決することができる。
(C3)	体力･教養	技術者として活動するために必要な体力や一般教養を身につける。
(C4)	協調･報告	特定の問題に対してグループで協議して挑み、期日内に解決して報告書を書くことができる。

(D) 地球的視点と技術者倫理を身につける。

(D1)	技術者倫理	工学技術が社会や自然に与える影響を理解し、また、技術者が負う倫理的責任を自覚し、自己の倫理観を説明することができる。
(D2)	異文化理解	異文化を理解し、多面的に物事を考え、自分の意見を説明することができる。

9　校地、校舎

所在地	神戸市西区学園東町８丁目３番地
校　地	85,478 ㎡
校　舎	鉄筋コンクリート１階～6階　建延28,675 ㎡ （本校には、寮施設はありません。）

１０　必要経費（2024 年度予定額）

種　　別	金　　額	備　　考
授　　業　　料	年額 234,600 円（2 期分納）	減額・免除の制度があります
諸　　会　　費	年額 120,000 円（2 期分納）	後援会費、学生会費、学年費、研修旅行積立等
入　　学　　金	84,600 円	ただし、神戸市住民等は 28,200 円
入　学　時　諸　費	8,500 円	学生証発行費用・後援会入会金
教科書、教材教具等	約 63,000～約 80,000 円	学科により異なります

(1) 入学金及び授業料については、2023 年 4 月時点の金額であり、改定する場合があります。改定された場合は、改定時からその金額によります。
(2)「神戸市住民等」とは、入学の日の１年前から引き続き神戸市に住所を有する者およびその配偶者または２親等以内の親族をいいます。（確認のため、編入学の日前３か月以内の住民票の写しや、戸籍謄本等を合格発表後に提出いただきます。）
(3) 諸会費については、若干変動することがあります。
(4) 必要により、パソコンの購入・自宅のインターネット環境の整備等をお願いすることがあります。

１１　奨　学　金

奨学金は、学業・人物ともに優れ、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対して、選考の上、一定額の資金が貸与または給付される制度です。

① 日本学生支援機構給付奨学金

月額 5,900 円～17,500 円（家計基準及び学業成績基準有）

② 日本学生支援機構第１種奨学金（貸与）

月額 30,000 円　または　45,000 円

③ 同　上　第２種奨学金（有利子貸与）

月額 20,000 円～120,000 円の中から選択する。

（金額はいずれも 2023 年度 4 学年の現行月額です。）

その他にも各種の奨学金制度があります。